

分野	実施方針	7年度取組状況	令和7年度途中実績（7年12月末の実績、6年12月末との比較）		
<p>(1)「デジタル分野」 (IT分野・デザイン分野)</p>	<p>① デジタル分野の拡充</p>	<p>・愛知県・JEEDにおいて、デジタル分野の訓練コースの拡充に取り組み、令和7年12月末現在、全体定員の31.8%をデジタル分野が占めている。（前年度同時期30.6%）</p>	<p>「IT分野」 公共職業訓練（委託訓練）</p> <p>①応募状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コース数 50（12）増加</li> <li>・開講定員数 700名（▲35名）減少</li> <li>・受講申込者数 607名（33名）増加</li> <li>・受講者数 471名（41名）増加</li> <li>・応募倍率 86.7%（8.6%）上昇</li> <li>・定員充足率 67.3%（8.8%）上昇</li> </ul> <p>②6年度就職率（参考） 73.8%（5年度72.4%）上昇</p>		<p>③状況・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定員は減少したが、コース数を増やし受講機会を増やしたことで、申込者数・受講者数共に増加傾向が見られ、定員充足率も向上</li> </ul>
	<p>② 企業ニーズに即した訓練カリキュラムの設定</p>	<p>・企業のデジタル人材ニーズを把握した調査結果を一覧にした「デジタルスキル表」を作成した。また、これを愛知県・JEEDと共有し、訓練実施機関におけるカリキュラム設定に活用してもらうよう依頼をした。</p>			
	<p>③ 適確な受講あっせん</p>	<p>・ハローワークにおいて、求職者が自身の能力や志向に適した職業訓練を円滑かつ効果的に選択できるよう支援するため、「デジタルスキル表」を積極的に活用し、職業相談やキャリアコンサルティングの場面において求職者の現状のスキルレベルや今後のキャリア形成に関する意向を丁寧に把握したうえで、各訓練コースの内容と求職者の能力・志向との適合性を総合的に検討し、ミスマッチの発生を未然に防止しつつ、より適切で効果的な訓練の受講あっせんにつなげる取り組みを実施した。</p>	<p>求職者支援訓練</p> <p>①応募状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コース数 5（2）増加</li> <li>・開講定員数 89名（29名）増加</li> <li>・受講申込者数 85名（27名）増加</li> <li>・受講者数 58名（19名）増加</li> <li>・応募倍率 95.5%（▲1.2%）低下</li> <li>・定員充足率 65.2%（0.2%）上昇</li> </ul> <p>②6年度就職率（参考） 51.2%（5年度56.9%）低下</p>		<p>③状況・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開講コース増加により、応募倍率に若干の低下は見られるが、高水準を維持している。</li> <li>・定員充足率については低調であり、受講者確保が課題</li> <li>・就職率低下のため就職支援の強化が課題</li> </ul>
	<p>④ 訓練受講者の意識喚起</p>	<p>・訓練受講者に「デジタルスキル表」により企業が求める人材ニーズを伝え、スキル習得の動機付けの強化を図った。</p>	<p>「デザイン分野」 公共職業訓練（委託訓練）</p> <p>①応募状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コース数 26（0）</li> <li>・開講定員数 350名（▲110名）減少</li> <li>・受講申込者数 407名（▲221名）減少</li> <li>・受講者数 274名（▲146名）減少</li> <li>・応募倍率 116.3%（▲20.2%）低下</li> <li>・定員充足率 78.3%（▲13.0%）低下</li> </ul> <p>②6年度就職率（参考） 79.9%（5年度84.4%）低下</p>		<p>③状況・課題</p> <p>高い応募倍率は解消傾向にある。定員充足率も低下したものの依然として高水準にある。就職率においても低下がみられるものの高水準である。</p>
	<p>⑤ 「DX推進求人」の確保・訓練受講者への提供</p>	<p>・「DX推進求人」（あらゆる職種において業務にデジタルの知見を活用できる求人）の周知広報を積極的に実施し、企業に対して同求人制度の意義や活用メリットを丁寧に説明することで、求人登録の促進につなげた。</p> <p>・「デジタルスキル表」を活用し、「DX推進求人」（企業が求める人材ニーズ）の内容把握を効率的に行い、求人確保を推進した。</p>			
	<p>⑥ デジタルリテラシーの習得可能なカリキュラムの設定</p>	<p>・公共職業訓練（委託訓練）及び求職者支援訓練について、カリキュラムにデジタルリテラシーが含まれるコースを設定した。</p>	<p>求職者支援訓練</p> <p>①応募状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コース数 25（9）増加</li> <li>・開講定員数 554名（169名）増加</li> <li>・受講申込者数 692名（▲7名）減少</li> <li>・受講者数 450名（109名）増加</li> <li>・応募倍率 124.9%（▲56.6%）低下</li> <li>・定員充足率 81.2%（▲7.3%）低下</li> </ul> <p>②6年度就職率（参考） 71.2%（5年度60.3%）上昇</p>		<p>③状況・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コース数及び定員の増加により、高い応募倍率は解消傾向にあり、受講機会の拡大により受講者数についても増加傾向にある</li> <li>・就職率についても改善傾向</li> </ul>

分野	実施方針	7年度取組状況		
<p>(2)「製造分野」 「建設関連分野」</p>	<p>① 訓練制度の周知・広報</p>	<p>・求職者への訓練情報提供を強化するため、「ハロトレNews」や「わかものハロトレNews」などの訓練情報一覧を活用し、ハローワークやサポートステーションに加えて、愛知県教育委員会や名古屋市仕事・暮らし自立サポートセンターなどの福祉・支援関係施設へ配付するとともに、ホームページを通じて周知・広報を行い、幅広い層への情報提供を図った。また、学習支援事業等を行う県内自治体に対しても訓練情報を提供し、県下69自治体へ送付した。内訳としては、郵送による提供が55自治体、メールのみが8自治体、郵送とメールの併用が6自治体であり、自治体の状況やニーズに応じた柔軟な情報提供を行った結果、愛知県全体における訓練情報の周知促進につながった。</p> <p>・ハローワークにおいて訓練説明会を開催し、各訓練コースの特徴や学習環境、取得可能な資格についてわかりやすく紹介するとともに、説明会終了後には希望者に対して個別相談の機会を設けることで、受講に向けた不安の解消や疑問点の整理を図り、訓練受講の促進につながった。</p>	<p>「製造分野」 公共職業訓練（愛知県・施設内） ①応募状況 ・コース数 10（1）増加 ・開講定員数 240名（±0名）増減なし ・受講申込者数 234名（23名）増加 ・受講者数 159名（5名）微増 ・応募倍率 97.5%（9.6%）上昇 ・定員充足率 66.3%（2.1%）上昇 ②6年度就職率（参考） ・76.5%（5年度80.9%）下降</p>	<p>③状況・課題 ・応募倍率は上昇傾向にあるが、依然として定員充足率が低く受講者確保が課題</p>
	<p>② 効果検証ワーキンググループでの検証・分析</p>	<p>・「製造分野」および「建設関連分野」については、定員充足に向けた課題や今後の取組を明確化するため、効果検証ワーキンググループにおいて、訓練コースの構成や開講時期、定員数の見直しをはじめ、愛知県とJEEDのホームページを比較し、より効果的な周知・広報方法の把握に努めた。また、見学会の内容を充実させるとともに、見学会の開催と受講申込数との相関関係を分析し、訓練応募促進に資する改善点を検討した。さらに、女性受講者の確保に向け、女性活躍事例の収集・発信や短時間訓練の設定など、多様な受講ニーズに対応する取組についても検討を進め、課題解決に向けた方策を整理した。</p>	<p>「建設関連分野」 公共職業訓練（愛知県・施設内） ①応募状況 ・コース数 5（▲1）減少 ・開講定員数 150名（▲30名）減少 ・受講申込者数 116名（8名）微増 ・受講者数 90名（8名）微増 ・応募倍率 77.3%（17.3%）上昇 ・定員充足率 60.0%（14.4%）上昇 ②6年度就職率（参考） ・71.6%（5年度88.7%）低下</p>	<p>③状況・課題 ・コース数と定員の減少により応募倍率や定員充足率は上昇したものの、依然として充足率は低く、受講者の確保が課題 ・就職率低下のため就職支援の強化についても課題</p>
			<p>公共職業訓練（機構・施設内） ①応募状況 ・コース数 5（▲2）減少 ・開講定員数 126名（±0名）増減なし ・受講申込者数 163名（8名）微増 ・受講者数 115名（▲2）微減 ・応募倍率 129.4%（6.3%）上昇 ・定員充足率 91.3%（▲1.6%）微減 ②6年度就職率（参考） ・96.1%（5年度93.1%）上昇</p>	<p>③状況・課題 ・応募倍率は100%を超え、定員充足率も90%を維持するなど堅調 ・就職率も95%以上の高水準で安定</p>

分野	実施方針	7年度取組状況	令和7年度途中実績（7年12月末の実績、6年12月末との比較）	
<p>(3)「介護・福祉・医療分野」</p>	<p>① 訓練制度の周知・広報</p>	<p>・求職者への訓練情報提供を強化するため、「ハロトレNews」や「わかものハロトレNews」などの訓練情報一覧を活用し、ハローワークやサポートステーションに加えて、愛知県教育委員会や名古屋市仕事・暮らし自立サポートセンターなどの福祉・支援関係施設へ配付するとともに、ホームページを通じて周知・広報を行い、幅広い層への情報提供を図った。また、学習支援事業等を行う県内自治体に対しても訓練情報を提供し、県下69自治体へ送付した。内訳としては、郵送による提供が55自治体、メールのみが8自治体、郵送とメールの併用が6自治体であり、自治体の状況やニーズに応じた柔軟な情報提供を行い、愛知県全体における訓練情報の周知促進につなげた。</p>	<p>公共職業訓練（委託訓練）</p> <p>①応募状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コース数 56（18）増加</li> <li>・開講定員数 470名（19名）増加</li> <li>・受講申込者数 339名（▲18名）減少</li> <li>・受講者数 281名（4名）微増</li> <li>・応募倍率 72.1%（▲7.0%）低下</li> <li>・定員充足率 59.8%（▲1.6%）低下</li> </ul> <p>②6年度就職率（参考）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・84.6%（5年度84.2%）微増</li> </ul>	
		<p>・ハローワークにおいて訓練説明会を開催し、各訓練コースの特徴や学習環境、取得可能な資格についてわかりやすく紹介するとともに、説明会終了後には希望者に対して個別相談の機会を設けることで、受講に向けた不安の解消や疑問点の整理を図り、訓練受講の促進につなげた。</p>	<p>求職者支援訓練</p> <p>①応募状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コース数 12（±0）増減なし</li> <li>・開講定員数 190名（±0名）増減なし</li> <li>・受講申込者数 182名（▲13名）減少</li> <li>・受講者数 141名（▲6名）減少</li> <li>・応募倍率 95.8%（▲6.8%）低下</li> <li>・定員充足率 74.2%（▲3.2%）低下</li> </ul> <p>②6年度就職率（参考）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・60.0%（5年度60.4%）微減</li> </ul>	

③状況・課題

- ・コース数・開講定員数は増加しているが、受講申込者数・応募倍率・定員充足率は低下しており、受講者確保が課題
- ・就職率は80%以上で安定

令和8年度WG効果検証対象

③状況・課題

- ・受講申込者数・応募倍率・定員充足率が低下傾向にあり、受講者確保が課題
- ・就職率は低い水準で横ばい、就職支援の強化についても課題

令和8年度WG効果検証対象

# 令和8年度愛知県地域職業訓練実施計画の策定に向けた検証

資料5-2

訓練分野	令和7年度 第1回協議会 協議内容		令和7年度途中実績（7年12月末の実績、6年12月末との比較）	
<b>営業・販売・事務分野</b>  （応募倍率が高く、就職率が低い分野として令和5年度効果検証）	<b>7年度実施方針</b>	・応募倍率、就職率ともに一定の改善が見られるところであり、令和6年度後半の実施状況を見つつ、令和7年実施方針（案）の取組を検討する。	公共職業訓練（委託訓練） ①応募状況 ・コース数 108（+34）増加 ・開講定員数 1,515名（+187名）増加 ・受講申込者数 1,338名（+44名）増加 ・受講者数 968名（+80名）増加 ・応募倍率 88.3%（▲9.1%）低下 ・定員充足率 63.9%（▲3.0%）低下 ②6年度就職率（参考） ・75.0%（5年度78.6%）低下	③状況・課題 ・コース数及び定員数の増加により、応募倍率は低下するものの受講機会の拡充により受講者数は増加 ・就職率は堅調
	<b>6年度実績</b>	○6年度実績 【委託訓練】応募倍率は解消傾向93.9%（▲11.0%）就職率低下75.0%（▲3.6%）。 【求職者支援訓練】応募倍率低下130.8%（▲6.8%）就職率上昇65.8%（+1.2%）。	求職者支援訓練 ①応募状況 ・コース数 10（▲2）減少 ・開講定員数 235名（▲15名）減少 ・受講申込者数 321名（+34名）増加 ・受講者数 194名（▲2名）減少 ・応募倍率 136.6%（+21.8%）上昇 ・定員充足率 82.6%（+4.2%）上昇 ②6年度就職率（参考） ・65.8%（5年度64.6%）上昇	③取組状況・課題 ・コース数及び定員の減少により、応募倍率・定員充足率の上昇 ・就職率改善傾向
	<b>6年度実績と訓練ニーズの分析・今後の方向性</b>	求職者訓練ニーズ（試算）は最も多く、潜在的な訓練希望者は多いと思われる。定員充足率80.0%と低調だが、応募倍率は適正。 ⇒令和5年度効果検証ワーキンググループにて検証済（6年度実施方針に反映）。		